

令和5年度 高齢者の保健事業と介護予防 一体的事業(実績)

1. 高島町の健康課題の分析

KDB システム等から、後期高齢者医療被保険者ひとり一人の医療レセプト、健診データ、介護レセプト、要介護度等の情報、質問票の回答等を把握し、健康課題の分析と、支援すべき対象者を把握。一部を、NPO 地域健康プランに委託し実施。

〈委託内容〉

- ・ 個別支援及び通いの場への関与の実状況検討のための KDB データを活用した健康課題の分析及び事業効果の分析。

2. 個別的支援（ハイリスクアプローチ）

(1) 低栄養予防

令和3年度と4年度の後期高齢者健康診査で、BMI が 18.5 以下または前年度と比較し 3 kg 以上減少した高齢者について個別支援を実施。

(2) その他の重症化予防

- ①令和4年度の後期高齢者健康診査の結果、血糖、血圧、脂質について受診勧奨判定値に該当した高齢者で医療機関を受診していない方に個別支援を実施。

〈基準〉 血糖：空腹時血糖 126 mg/dl 以上又は HbA1c6.5%以上

血圧：収縮期血圧 140mmHg 以上又は拡張期血圧 90mmHg 以上

脂質：中性脂肪 300 mg/dl 以上又は LDL コレステロール 180 mg/dl 以上

- ②令和5年度の後期高齢者健康診査の結果、下記基準に該当した方に個別支援を実施。

〈基準〉 血糖：HbA1c10.0%以上

腎機能：血清クレアチニン 2.0 mg/dl 以上

(3) 健康状態不明者への支援

令和3年度及び令和4年度において後期高齢者健康診査未受診者かつ医療機関未受診かつ要介護認定なしの方について健康状態や生活状況の把握を行う。また、必要に応じて関係機関の支援につなげる。

ハイリスクアプローチ			
	実施人数（実績）		
	低栄養予防	その他の重症化予防	健康状態不明者支援
当初計画	17	15	60
対象者数	15	10	33
実施人数	14	10	29

3. 通いの場への積極的な関与（ポピュレーションアプローチ）

町内の通いの場（地域の茶の間、高齢者サロン）を活用し、フレイル予防に関する健康チェックや健康教育及び健康相談を実施。

ポピュレーションアプローチ					
実施箇所数		実施回数		参加人数（延べ）	
健康教育 健康相談	状態把握	健康教育 健康相談	状態把握	健康教育 健康相談	状態把握
23	5	64	5	970	44

<健康教育内容>

- ・町の健康課題とフレイル予防：保健師
- ・運動講座：理学療法士
- ・脳トレ講座：保健師
- ・栄養・食事講座：管理栄養士
- ・オーラルフレイル講座：歯科衛生士
- ・薬講座：薬剤師
- ・音楽療法